

「ゲリラ豪雨」ってなに？

狭い範囲で突然発生し、
予測の難しい豪雨のことだよ。



「ゲリラ豪雨」はなぜ予測が難しいの？

天気予報は5kmや2kmの間隔で動きを計算して予測をしているよ。でも、豪雨をもたらす積乱雲や、その原因となる現象は小さすぎて予測をすることが難しいんだ。

じゃあ、突然雨が降ってくるのは
どうしようもないんだるか〜？こわい〜



確かに、それぞれの積乱雲の発達を予測して
「ゲリラ豪雨」を予測することは難しいね。

でも、レーダーを活用して積乱雲の位置や
雨量情報を確認すれば前もって積乱雲が
やってくる(=雨が降る)ことに気付くこと
ができるんだ！



気象レーダーはどうやって見るんだる？



気象庁の「ナウキャスト」が
おすすめだよ。



前もって知っていれば、
「ゲリラ」じゃなくなるね！



「ナウキャスト」

画像：気象庁

過去3時間の雨雲・雪雲の動きや、1時間先までの雲の予測情報を確認できるよ。PCやスマートフォンからでも見ることができるんだ。

「集中豪雨」ってなに？

同じような場所で数時間にわたって強く降り、100mm～数百mmの雨をもたらす雨のことだよ。

積乱雲の寿命は約30分～1時間と短いよ。
でも、気象条件によっては積乱雲が風上側で
どんどん生まれては風に流されて通過して、
狭い範囲に大量の雨を降らせることがあるんだ。
積乱雲が線のように連なっているのよ、
この積乱雲たちを「線状降水帯」と呼んでいるよ。

線状降水帯のイメージ



令和2年7月豪雨や、平成29年の九州北部豪雨も、
この線状降水帯が停滞したことが原因で発生したんだる〜

